

# 業務部速報



No. 133

発行 20. 5. 26

JR東労組 業務部

## 新幹線における乗務員基地再編の概要について提案を受ける！

**JR東労組本部は、新幹線統括本部より新幹線における乗務員基地再編の概要について提案を受けました。提案内容は以下の通りです。**

### ■目的

○安全・サービス品質のさらなるレベルアップを図る。

→乗務員の訓練や教育、CS等において、運転士と車掌が融合することでより充実した訓練等を行うことができるようになることを期待している。

○輸送の安定性を維持する。

→異常時における乗務員の手配等が行いやすくなる。

○効率的な業務体制を実現する。

→乗務員の指揮命令系統（上二運：統括本部、丸車：東京支社）を統一できる。

→東京起点で乗務員のダイヤを構築でき、運転士は上野からの便乗等を減らせる。

※乗務員訓練等についても、実施方法などを今後検討していく。

### ■実施内容

○東京新幹線運輸区（仮称）を東京駅近傍（N-C T Cビル→旧運行本部）に設置する。

→上野新幹線第二運転所は廃止、丸の内車掌区の新幹線車掌業務を移管する。

→職場レイアウトについては統括本部と東京支社で協議して決定していく。

※希望等は把握して検討していく。

→東京口の職場として、新幹線の全方向を担う役割は大きく変わらない。

○標準数や職場の規模は現在検討中であり、決定次第別途提案となる。

※2018年12月に「今後の乗務員基地について」で示した「250名規模」という目安は変わっていない。

※来年7月のオリンピック・パラリンピックへの対応については現在検討中。

※新しい職場の規模や目指す姿、コンセプト等細部は現在検討中。

○社員説明は、業務掲示やタブレット配信の他、当該の上二運では6月の訓練でも説明する。

※内容や時間は職場と調整して決定する。

○面談については、実施時期や方法については検討中である。

※個人の状況や希望の把握はしっかり行う。ジョブローテーションの面談と別途にするかなどの詳細は検討中。

○今回の統廃合では、ジョブローテーションの一職場の期間の通算（概ね10年）をせず、新たな職場として取り扱う。

**安全・健康・ゆとり・働きがいを感じられる職場をつくりあげよう！！**